

252-4

不安面接法集中講座 追加開催！

不安を、現代人は巧妙に避ける。そのために、不安のもつ、不安に内在する当人の可能性が宙に浮き、希望を失わせてしまうことが多く、不安障害以上に適応反応症を生み、引きこもりや自己破壊行動も多発させてしまう実態がある。医療によって重篤な障害の軽症化は果たせても、慢性化も生んでしまうパラドックスが、多様に生じている。

不安は、カウンセリングや心理療法によってこそ、避けるもの遺棄すべきものから、創造的体験に変わる。

不安面接法は、すべての臨床面接に道を開く、豊かな理論と技法を提供するものです。しかし、それを面接に実現するには、セラピスト自身が自分自身の不安との付き合いを、親しみがあがり、楽しめるものにしなければなりません。

楽しみのうちに面接法の技術を実践できるレベルに身につけ、高めるには、練習が必要です。練習は、間違った方法ですと、逆効果に至ることもよく知られていることです。

訓練あつての練習が実力になっていきます。その機会を増やすために、不安面接集中訓練を年2回開催することとしました。奮ってご参加ください。

【日時】 2026年3月7日（土）11:00-17:00・8日（日）10:00-16:00

【講師】 小谷英文

【対象】 臨床心理士、公認心理師、スクールカウンセラー、ソーシャルワーカー、CNS、教師、産業カウンセラー、メンタル・トレーナー

【受講資格】 自験例を有すること。自験例(自身が担当している事例)の2W I H ケースフォーミュレーション(テキスト:小谷(2022)参照)を記述し持参すること。

【テキスト】 小谷英文 (2022). 『ケースフォーミュレーション:困難患者の臨床と研究の基軸』 PAS 心理教育研究所出版部。

【定員】 15名

【料金】 40,000 円(税込) *早割(1/30 (金) までの申込者):35,000 円(税込)

*オンライン割引(オンラインプログラムの通年受講者:早割併用可):30,000 円(税込)

*心理相談講座受講生:20,000 円(税込)

【申込方法】 申込用紙をメール・FAXまたは郵送にて研究所までお送り下さい。